

# 三条市実学系ものづくり大学開設検討委員会（第8回）

## 議事概要

- 1 開催日時 平成30年10月12日（金）13時30分～15時00分
- 2 場 所 三条市役所 三条庁舎4階 第二委員会室
- 3 出席者 [委員]（敬称略）  
高橋勉（委員長）、兼古耕一（副委員長）、アハメド・シャハリアル、  
齋藤一成、木村栄一、勝見悦行の各委員（6名）

[事務局]

高等教育機関設置推進室

坂田室長、今井次長、相場主査、田代専門員、若木専門員  
商工課

瀬戸主幹

- 4 傍聴者 なし
- 5 報道機関 新潟日報社、三條新聞社、越後ジャーナル社
- 6 配付資料
- ・資料1 大学の名称等について  
別紙 特定の文字等を使用している大学名  
公立大学一覧表
  - ・資料2 教育課程について

### 7 会議概要

会議の開催に先立ち、事務局から今回の会議は冒頭のみ公開とする旨の説明があった。

(1) 開会

(2) 議事

[大学の名称等について]

- 事務局から、配付資料に基づいて、「大学の名称等について」の説明があった
- 事務局から、大学名については、本日の意見を踏まえて市で再度検討する旨の説明があった。

- 各委員による意見交換が行われた。主な意見は以下のとおり。
- ① 大学名の重要なキーワードとして、「燕三条」について考える必要がある。現時点で使用することが難しければ、開学後に大学名を変更することも含めて考えてはどうか。
  - ② 大学名は、大学のブランディングに大きく関わってくるため、変えなくて済むよう、よく考えてつけると良いのではないか。
  - ③ これから入学する子どもが行きたくなるような大学名になると良い。
  - ④ 大学の専門分野に関わる単語を複数使用する時は、その並列関係や包含関係などについて整理する必要がある。
  - ⑤ これまでなかった単語の組み合わせを作り、この大学オリジナルの造語としてブランディングをしていくこともできる。
  - ⑥ 生徒の目線から考えると、公立であることと、立地がはっきり分かるような地域名を表す名称が付いていると良いのではないか。
  - ⑦ 大学についてのメインになる部分を大学名とし、細かい専門分野などは学部名・学科名で表すこともできる。
  - ⑧ はやり廃りに影響されないような普遍的な単語を使用したい。
  - ⑨ 実学という単語は、三条実業高校があった歴史などもあり、この地の大学名として相応しいのではないか。
  - ⑩ 大学の永続性を考えると、この大学がこの地でずっと産業を育てていく大学であることを端的に表すような名前も良いのではないか。
  - ⑪ 学部・学科名は、学生が何を学んできて、何ができるのかが分かりやすいほうが良い。

〈各委員から出された大学の名称案〉

- ・三条大学
- ・三条市立実学系工業技術大学
- ・公設実学系工業技術大学

[教育課程について]

- 事務局から、配付資料に基づいて、「教育課程について」の説明があった。
- 各委員による意見交換が行われた。主な意見は以下のとおり。
- ① 短期インターンシップについては、なるべく多数の企業を見学できると、地場産業のことがしっかり理解できて良い。
  - ② インターンシップ時に、学生ならではの素朴な疑問や発見があった際には、それを企業側にきちんと伝え、企業側もインターンシップの良さを実感でき、また、学生の学びも充実する。その結果、企業間で学生が来ることに対するポジティブな評判が広がることを期待したい。

- ③ 産業界の人材が学生を指導することで、予備知識のない者に指導する経験や、ロジカルなものの考え方の鍛錬の場ともなり、産業界の人材育成にも資することができる。
- ④ 企業をリタイアした人たちが、後継者や技術者の育成を有償で請け負う業務形態が出てきている。大学でその活用などを考えても良いのではないか。
- ⑤ トヨタ生産方式などはコンサルタントのような人たちからの単発集中講義が効果的だと考えられるが、その十分な理解のためには、学生が事前にしっかり基礎知識を学修しておく必要があるだろう。
- ⑥ ニーズの高いロボット（制御、機械、ソフトウェア、デバイスなど）のようなテーマは、一つの学問領域だけで成り立つものではない。この大学で考えているような実習型の産学融合でやっていくことができると思われるが、どのようにカリキュラムに組み込むかはよく考える必要がある。漠然とした科目名として、複合的な内容を学ばせることも考えられる。
- ⑦ 新潟県工業技術総合研究所の県央支援センターとの連携ができると、この地域における工業的かつ複合的な学修を構築する上でのアドバイスが得られるのではないか。
- ⑧ 限られた教員数でこの教育課程を実現するには、産業界の人材や企業をリタイアしたシニア人材などの活用が重要。ものを作る上でのノウハウ等は産業界の人材が教え、確かな基礎知識や世界の動向などは研究に従事している教員が教えるなど、うまく分業できると良い。
- 事務局から次回開催について、また、市が情報を公開するまで、資料や会議内容について公にしないよう説明があった。

#### (4) 閉会

了